

平成29年度 東海小学校学校評価 評価項目

【評価基準】 A:目標を達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察<◇>及び改善方策<◆>	評価資料	アンケート			
					4	3	2	1
1 確かな学力の定着と向上に努める。	指標① 授業改善に努め、指導と評価が一体となった分かる・できる授業作りに取り組んでいるか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の90%以上が肯定	A	◇ 児童アンケートでは全員が4評価としている。保護者評価も昨年に比べやや高くなっているが、1名の方が2評価としていることは重く受け止めたい。 ◆ 少人数の特性を生かし、全ての児童に「分かった」「できた」という成就感を味わわせる指導を継続する。そのためにも、複式学級での有効な指導法について研究していく必要がある。	教職員 3 教職員 2 児童 14 保護者 2	3	1	0	0
	指標② 基礎・基本の定着を目指し、組織として学力向上を図っているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定	A	◇ 昨年度よりも児童・教職員・保護者の評価が高くなっていることは素直に喜ぶたい。ただ、保護者アンケートで3評価が多いのは、目に見える形での成果が見えにくいのかもかもしれない。 ◆ 昨年度有効に機能した管理職が個別指導に当たることは教職員数減のため、今年度はできなかった。その分、各学級での個別指導の推進に力を入れた。今後も一単位時間内での個別指導を工夫していきたい。	教職員 3 児童 14 児童 14 保護者 3	3	1	0	0
	指標③ 家庭学習(低学年30分、中学年40分、高学年60分)の習慣が身に付いているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定	A	◇ 今年度、年間を通して自主学習の充実に取り組んだことが前年度に比べて評価が上がったことにつながっている。また、毎日一定の宿題を課したが、ほぼ全員がその宿題を行っていている。子どもたちのまじめさをほめたい。 ◆ 小規模校の特色を生かした個に応じた宿題について検討する必要はあるが、次年度も子どもたちのまじめさをほめて支える教師集団でありたい。	教職員 2 児童 10 保護者 2	2	2	0	0
学校運営協議会委員の所見	○全国学力・学習状況調査や県の学力診断調査での成績を見ると、小規模校の特性を生かしつつ、先生方が真摯に児童の指導に取り組んでいることがよく分かる。 ○授業参観からは、児童一人一人が生き生きと前向きに学習に取り組んでいると感じられる。 ○人数が少なくなったこともあるが、昔に比べ、個別指導が充実しているように思う。 △宿題をするのが精一杯で、自主学習までは手が回らない児童もいる。		学校の対応	○小規模校のよさが生きる取組を今後も工夫していく。 ○今年度は、参観日の参観者が増えるよう地区放送を活発に行った。その結果、参加者が増えたことはうれしい。また、学校運営協議委員の皆さんに児童を知ってもらうための参観授業やふれあい集会を実施したことは有効であった。次年度も引き続き実施する。 ○学校運営協議会委員の皆さんを始め、多くの方からお褒めの言葉をいただいた。これを励みに、全職員が一丸となって一人一人の確かな学力の定着・向上に力を注ぎ、目に見える形で結果を出す。 ○宿題を確実にする児童は育ってきたので、自らを自らが伸ばす自主学習についてアドバイスしていく。				

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察<◇>及び改善方策<◆>	評価資料	アンケート			
					4	3	2	1
2 一人一人を生かす生徒指導の徹底と健全育成に努める。	指標④ いじめや不登校等の未然防止のためにアンケートや教育相談を実施するなど、自他の生命を大切にする指導の充実を図っているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定	A	◇ 今年度も計画的教育相談を年間を通して実施し、児童の思いをくみ取る努力をし、同時に児童を見つめる会を通して全教職員の共通理解とし、小さな問題発生時にもすぐに電話連絡や家庭訪問といった対応をとった。このことが評価を昨年に比べ上げることになったと考えられる。 ◆ 計画的教育相談の実施が、児童から「先生たちは、私たちのことをよく見てくれている。」という評価につながっている。HPなどでのPRも一部保護者には効果があるので続けたい。	教職員 児童 保護者	3 14 4	2 0 6	0 0 1	0 0 0
	指標⑤ 家庭や地域との連携を図り、学校全体で挨拶運動に努めているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者・地域住民の90%以上が肯定	A	◇ 昨年度以上に高い評価になっている。御意見の中にも、児童の挨拶のよさを褒める言葉がたくさんあった。学校運営協議会でもよい挨拶ができているという意見が多く出ている。 ◆ 地域から褒められたことを児童に伝えることによって、自覚が高まっているように思われる。「いつでも」「どこでも」「気持ちよい」挨拶ができる東海小をさらに意識付けていきたい。	教職員 児童 保護者 地域住民	3 14 3 21	3 0 8 4	0 0 0 1	0 0 0 0
	指標⑥ 家庭や地域、スポーツ少年団等と連携し、児童の日常生活を把握しながら健全育成に努めているか。 <目標値> 教職員・保護者の80%以上が肯定	A	◇ 三つのアンケートとも全て評価3以上となっており、児童の健全育成に努めていることを保護者にも評価していただいている。 ◆ 定期的な生活カードの実践を通して家庭との連携を深めることができているので続けたい。また、学校運営協議会を開催し、児童の健全育成等について地域とともに考えることが少しずつできるようになってきた。来年度はより具体化したい。	教職員 教職員 保護者	4 6 6	1 0 5	0 0 0	0 0 0
学校運営協議会委員の所見	○子どもたちの地域放送が素晴らしい。どの子が放送しているのかもわかるようになった。 ○毎朝の子どもたちの挨拶がうれしい。 △朝の集合場所で寒い中待っている姿を見かける。仲は良さそうだが、意地悪な行動も見られる。 △学校運営協議会の委員になっているが、子どもたちの顔と名前が一致しない。 ●サンキョー前や岩水の郵便局前など、スピードを出す車が多く危険に感じている。 ●東海小学校では、名札を登下校時にもつけさせているが、名前を憶えられて犯罪に巻き込まれないか心配。		学校の対応	○様々な学校行事に際し、地区放送を全校児童の輪番で実施している。地区の多くの方からお褒めの言葉をいただいている。そのことを児童に伝えることで、さらにやる気になってよい放送をしようとする好循環が生まれている。大切にしたい。 ○児童の挨拶についても褒めてもらっていることを伝え、よりよくしていく。 ○何気ない行動が、友達を嫌な気持ちにさせることがあることを、気付いた時にすぐ注意するようにしている。小さなトラブルも少なくなってきた。 ○学校運営協議会の委員さんとのふれあい集会を実施し、大変高い評価をいただいた。 ○学校運営協議会の委員さんから教えてもらった場所については、関係児童とともに現地で指導を行った。また、警察にも相談し、安全の確保に努めていく。 ○本校の実態を考えたときに、登下校時に名札はいらないと判断し、学校に据え置くようにした。ただ、名札を大切に、つける習慣化は大切にする。				

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察<◇>及び改善方策<◆>	評価資料	アンケート			
					4	3	2	1
3 体力向上を軸とした健康・安全教育の推進に努める。	指標⑦ 運動に親しみ、自ら進んで体力向上を目指す、よい習慣を育成しているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の90%以上が肯定	A	◇ 教職員、児童、保護者とも全て肯定的な意見となっている。特に今年度は、新入生や転入生が休み時間に一輪車練習に励み、それを他の児童がサポートすることができていた。 ◆ 休み時間や放課後などに児童が楽しみながら体力をつけることが習慣化している。ただ、放課後練習については、一部教師に過重負担がかかっていることも事実なので、校時の工夫とともに次年度の課題となっている。	教職員 児童 保護者	5 9 6	1 5 5	0 0 0	0 0 0
	指標⑧ 自らの健康に気を配り、「早寝・早起き・朝ごはん・朝排便」の生活習慣が身に付いているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者の90%以上が肯定	A	◇ 児童の自己評価は大変高いが、保護者の評価はやや低くなっている。保護者側からすると、児童にもっとやってほしいと思う分野である。 ◆ 日々の健康観察や健康行事などを通して、生活習慣の大切さを指導している。家庭での問題と切り捨てるのではなく、学校での指導の在り方、生活カードの効果的活用などを工夫していきたい。	教職員 児童 保護者	2 11 2	3 3 7	0 0 2	0 0 0
	指標⑨ 地震をはじめとする自然災害に対し、適切に対応できる能力を養うよう避難訓練や安全教育の工夫・充実に努めているか。 <目標値> 教職員・児童・保護者・地域住民90%以上が肯定	A	◇ 教職員、児童、保護者、地域と全てのアンケートで高い評価となっている。町や県、国の行事とも関連させて、月1回以上の避難訓練、学期に1～2回の防災学習を実施してきた。 ◆ 本校の立地上、津波がクローズアップされがちだが、最初の揺れへの対応を特に重視して今年度は実施した。Jアラートなど新たな課題が出てきているので、今後とも自分で考えて行動できる実践的な防災教育に努めたい。	教職員 児童 保護者 地域住民	5 14 8 19	1 0 3 6	0 0 0 0	0 0 0 0
学校運営協議会委員の所見	○水泳大会や運動会を見て、人数は少ないけれど一人一人が主役になって泳いだり一輪車をしたりしている姿に心打たれた。 ○町の水泳大会のリレーで、大きな学校に勝ったのはすごいと思った。 ○岩水地域の防災倉庫が完成したので、学校の第二次避難場所に置いている備蓄品を移してはどうか。 ○生活習慣は、本来家庭の問題だが、学校としても取り組んでくれていてありがたい。 △わが子は、早寝ができていく。時間の使い方を親子で考えていきたい。		学校の対応	○全児童がそれぞれの実態や学年段階に応じて放課後の体育練習や音楽練習に参加しているのが東海小のよい点の一つである。その積み重ねが町の水泳大会でのリレーの入賞や運動会の全員一輪車につながっている。このよい伝統を大切にしながら、放課後や休み時間の児童の時間、教職員の時間の使い方を考えていく。 ○震災への対応について、地域が学校のことを思ってくださいとお願い。早速、備蓄品の移転を行うとともに、地区の避難場所についても継続して指導する。 ○日々の健康観察を大切にし、「早寝・早起き・朝ごはん・朝排便」の重要性を根気よく指導し続ける。生活カードについて養護教諭を中心に検討していく。 ○次年度は、さらに少人数になる。体育科の年間計画の見直しと課外体育の適切な実施について再度検討する。				

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察<◇>及び改善方策<◆>	評価資料	アンケート														
					4	3	2	1											
4 地域資源を活用し、地域と連携した学校運営を推進する。	<p>指標⑩ 地域学習に積極的に取り組み、東海地区を思う心(郷土愛)が育っているか。</p> <p><目標値> 教職員・児童・保護者の90%以上が肯定</p>	A	<p>◇ 三つのアンケート全てで高い評価をいただいている。保護者評価も昨年度に比べ高くなった。なにより、児童全員が「東海大好き」と答えていることがうれしい。</p> <p>◆ 春のミニ遠足を地域巡りとしたり、総合的な学習の時間で東海地区について調べまとめる活動を継続・推進していることが高評価につながっている。今年度は、学校運営協議会を通じた具体的な活動までには至らなかったため、次年度は具体的に移せるよう検討・工夫したい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	教職員	6	0	0	0	児童	14	0	0	0	保護者	6	5	0	0
	教職員	6	0	0	0														
児童	14	0	0	0															
保護者	6	5	0	0															
	<p>指標⑪ 学校教育を推進するにあたり、学校運営協議会を核にして地域や関係諸団体との連携、協力態勢の充実に努めているか。</p> <p><目標値> 教職員・保護者・地域住民の90%以上が肯定</p>	A	<p>◇ 42人の内41人から肯定的な回答をいただいた。今年度から始まった学校運営協議会はスムーズに船出したとまでは言えないが、教職員、保護者の4評価に気持ち的な高まりが感じられる。</p> <p>◆ 今年度は学校運営協議会初年度ということで、学校運営協議会とはどんなものかの学習や児童との顔合わせ、互いの情報交換が主であった。2月後半に予定している第5回の学校運営協議会で次年度の具体的な取組を話し合うことになるので、次年度の本校の実態を基に具体的な取組を3点以上は決めたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>	教職員	6	0	0	0	保護者	7	4	0	0	地域住民	17	7	1	0
教職員	6	0	0	0															
保護者	7	4	0	0															
地域住民	17	7	1	0															
学校運営協議会委員の所見	<p>○児童が「東海大好き」というのは、地域からして大変うれしいことである。</p> <p>○学校運営協議会の委員になって、児童のことや学校のことがよく分かるようになってきた。これまで、学校側が中心となって様々な企画を立ててくれたが、今後はやってほしいことも出してほしい。</p> <p>△地区には、危険な蛇が生息しているが、児童は見たことがあるのだろうか。</p> <p>△学校は毎朝早くから電気がついている。先生の数も少ないのに、健康面が心配だ。</p>	学校の対応	<p>○学校運営協議会において、東海小学校の様々な面をお知らせした上で熟議し、学校としてのお願ひ、助けていただきたいことを提案していく。</p> <p>○地区にいる危険な蛇の情報を受け、児童に見せたい旨お願ひしたところ、すぐに実物を持ってきていただき、児童に指導することができた。道路や川の危険情報もすぐに児童に指導した。小規模校の持つ機動性を存分に生かし、特に命にかかわることは、すぐに動くことを今後も継続する。</p> <p>○教員の勤務状況に対して心配していただいていることに感謝したい。少人数の学校なので、一人がいろいろなことをやらないといけないことは間違いないが、できるだけ助け合って、チーム東海として学校運営に当たりたい。</p>																